

水野家子孫モニカさんに親書

新宮市 入部400年記念事業

新宮領主として紀州徳川家を補佐した水野家の入部400年を迎え、新宮市(田岡実千年市長)では11月に記念行事など

を企画している。開催に当たり、市は水野家の子孫であるモニカ・水野・ペロイターさんを招こうと、田岡市長の親書を届

けた。モニカさんはドイツ・ハンブルク在住。新宮水野家14代水野誠氏の娘、慈子さんとドイツ人の父



モニカ・水野・ペロイターさんに田岡実千年市長の親書を手渡す
湊口博之会長=2日、ドイツ・ハンブルク(提供写真)

との間に、東京都で生まれた。12歳でドイツに移り住み、現在はハンブルクにて公益法人エルベ独日フォーラムを立ち上げ、独日交流に力を注いでいる。2010年、12年に新宮を訪れ市民と交流した。

親書は1日から5日にハンブルクで開催した「2019年ロータリー国際大会」に参加の新宮ロータリークラブ・湊口博之会長らが手渡した。モニカさんは11月に訪問の意志を示し「市からの親書とこの機会に感謝します」と喜んだという。湊口会長は「機運を高めて、新宮城の復元につなげたい。他のロータリークラブも賛同してくれている」と話していた。

(泉 真子)